

〇〇ちゃんがする!!~自我の芽生えと親の思い~

ねらい 子どもの体と心の育ちにとって必要な要素を考えるとともに、今の子育ての状況を楽しめるような心の余裕を持つ。子どもの思いに寄り添い、自主性を伸ばすために、親がどう支援すればよいかを考える。

準備物 学習者:ワークシート、筆記用具  
主催者:県ワークシート、副教材ワークシート、名札、模造紙、ボールペン

時間	アクティビティの展開	留意点	備考
10:00 (5分)	受付(名札) 挨拶・ファシリテーター自己紹介 趣旨・ルール説明	○各自名札をつける	※スケジュールの板書。
10:05 (10分)	アイスブレイク ○にらめっこしましょうゲーム ①円を作り、全員の顔が見えるように ②最初隣にいる人同士でペアを組み、自己紹介をしたあとににらめっこする。 ③先に笑った人、我慢した人に分かれ ④その中でまた2人組になりにならめっこをする ⑤②からの繰り返し  グループ作り 名札の裏に書いているシールまたはマークを見てグループに分かれる  ルール説明	○お互いを知り合う ○和やかな雰囲気作りに配慮する  グループ作り(6人以内のグループ)  参加者は平等(一方的にしゃべらない、人の話を聞く)、発言は強制ではない、しゃべらないのも自由、守秘義務(気持ちよく話せるために)	※笑いあうことで緊張を解きほぐす。自己紹介で相手を知り合う。  支援センターの先生担当 約束事は時間があればパネルを作る
10:15 (5分)  10分	<課題の抽出> ○各個人で「子どものいやいや」で困っている体験がないか書き出してみる  ○グループ内で紹介しあう  ○グループで話し合う内容をひとつ決める	あとで発表することを伝え、発表者を決めてもらう  ○一人30秒程度。自分と子どもの年齢など状況がわかる家族構成について情報提供をしてもらう ○(各ファシリテーターがグループを担当、意見は出さない)	模造紙に張り出す
10:30 25分	<考えましょう、出し合ひましょう> ■事例を再度ロールプレイングでやってみる 子どもの気持ちを代弁:3人程度 大人の気持ちを話す:3人程度 ○どう対応したらよいか意見を出し合う 本人の感想を聞いてみる  ※時間があれば他のケースも話し合う ○グループ発表	○全員に発言してもらう(パスあり)  ○模造紙、ポストイットで書き出す  ○  ○各グループの感想を話してもらう	
10:55	<学習を振り返りましょう> ○学習の振り返り ○アンケートの記入	○ファシリテーターからのまとめ ○情報提供	
11:00	終了・片付け		